

障害者支援施設 伏野つばさ園

1 基本方針

ノーマライゼーションの理念のもと、すべての利用者の人権と尊厳を守り、自立した生活を地域社会で営むことを基本とし、個別支援計画に基づき、利用者の希望に沿ったその人らしい生活ができるよう支援する。

また、健康管理等に十分配慮しつつ、生産（就労）活動を通じて社会の一員としての役割を担い「自信と誇りを持って暮らせる」よう、障がい者の地域生活を支える。

2 利用者の状況（令和8年3月31日現在）

(1) 入所者状況

(人)

利用人数		前年度末 利用者数	令和7年度中の入退所状況											利用 延人員	定員に 対する 年間 平均 稼働率	年度 末利 用者 数
			入所 人員	退所 人員	退所理由別											
GH	アパート 等				家庭 復帰	施設 移管	死亡	就職	サービス 変更	他						
		区 分	定員													
継続B型		100	102	6	22	0	0	6	10	0	1	4	4	17,211	70.5%	86
生活介護		40	49	4	4	0	0	0	4	0	0	0	0	8,930	83.0%	49
施設入所		40	41	2	3	0	0	0	3	0	0	0	0	13,979	95.7%	40
6 年 度	継続B型	125	103	5	6	0	0	1	0	0	0	1	1	18,017	60.1%	102
	生活介護	40	49	4	4	0	0	0	0	2	0	0	2	8,615	80.1%	49
	施設入所	40	41	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	14,274	97.8%	41

※就労継続B型 R7.5 定員 125 人→100 人

(2) 障害支援区分

①就労継続B型 [1. 6]

(人)

性別	障 害 支 援 区 分							計
	無・軽微	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	
男 性	10	1	7	25	15	2	0	60
女 性	8	0	9	5	3	1	0	26
計	18	1	16	30	18	3	0	86

②生活介護 [3. 7]

(人)

性別	障 害 支 援 区 分							計
	無・軽微	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	
男 性	0	0	2	7	20	6	0	35
女 性	0	0	2	5	7	0	0	14
計	0	0	4	12	27	6	0	49

③施設入所支援 [3. 7]

(人)

性別	障 害 支 援 区 分							計
	無・軽微	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	
男 性	0	0	2	6	16	4	0	28
女 性	0	0	2	4	6	0	0	12
計	0	0	4	10	22	4	0	40

3 事業の実施状況

(1) 日中活動の充実と再編

受託系作業班では、各班が相互に協力できる体制および編成の見直しを行い、利用者への安定した作業提供を確保するとともに、職員間の連携を強化し業務の効率化を図った。また、園外班とアシスト班の連携体制を構築し、業務全体の効率化にも取り組んだ。

自主製造班では、パン工房・菓子工房・喫茶部門を統合し、作業提供体制の充実を図るとともに、利用者支援と製造・納品・販売に係る業務の効率化を進めた。

生活介護事業は、作業を取り入れ働くことの喜びを得つつ、機能訓練や音楽療法、アート活動を提供し潤いのある活動を実施した。

はまなす作業所を閉鎖し、旧白兔はまなす園の解体を行った。

(2) 安定的な施設運営

施設入所支援については、入所定員は充足しているものの、土日等の帰省により年間稼働率は100%には至らなかった。短期入所事業については、相談・申込みが多く高い稼働率を維持したが、支援が困難な利用者からの申込みも見られたため、関係機関や相談窓口と連携し、受入れに向けた調整を行った。

生活介護事業については、新規の通所利用者の受入れもあり、今後もさらなる事業内容の充実が期待される。

就労継続支援B型事業では、高齢者施設への移行や一般就労などにより利用終了者が多く、新規利用者数を大きく上回ったため、稼働率の改善には至らなかった。

また、法人および当園の経営状況を職員会議等で共有し、経営改善への意識付けを行った。原材料や備品について、節約や修繕に取り組み経費の削減、職員の意識変革を目指した。特別支援学校等の職場実習へ協力し、生徒のスキルアップ、将来の利用につながるよう取り組んだ。

稼働率 就労継続支援B型：70.5%（目標75%）、生活介護：83.0%（目標85%）、施設入所支援：95.7%（目標100%）

(3) 工賃の目標

らっきょう作業や除草作業の園全体での取り組み、自主製造班のリニューアルにより、平均工賃は目標15,000円に対し16,124円となった。一方で、来年度はらっきょう作業の終了により作業量が縮小する見込みであり、15,000円以上の確保は難しくなる。

(4) 利用者支援の充実

個別支援計画では、アセスメントを重視し、ご本人のニーズに基づく支援が行えるよう、本人・担当者・関係者・家族を交えた担当者会議を実施した。

生活介護では生産活動に加え、アート活動、音楽療法、機能訓練等に取り組むとともに、B型との併用利用も提供した。

インフルエンザワクチンの接種、健康診断等を行い、利用者の健康維持に努めた。

積極的に研修や資格取得に取り組むなど、多くの刺激を受けることで支援の質の向上を目指した。

(5) 地域貢献・地域共生社会に向けた取組

イベントでの菓子やパンの販売を積極的に行い、地域との交流を通じて共生社会の実現に取り組んだ。また、パン教室を企画し、地域の学童保育や公民館との交流を図ることができた。

福祉センター内のバス停清掃や地域美化活動、降雪時の除雪など、地域貢献活動にも継続して取り組んだ。

生活介護では、アート活動講師やミュージックケア講師を招聘し、活動の充実を図ったほか、アート作品の展示会をコミュニティプラザ百花堂で開催した。

4 実習、ボランティアの受入状況

(1) 実習の受入実績

実習受入先	実習期間(月)	実人員	延人員
社会福祉士実習	9.10月	2人	9人
鳥取短期大学	6.8.10月	8人	102人
鳥取県新規採用職員体験研修	9月	1人	7人
計		11人	118人

(2) ボランティアの受入実績

3人(8月高校生2人、8月会社員1人)

5 附帯事業

(1) 短期入所事業 定員 4人

(2) 日中一時支援事業 定員 上記同様

(3) 利用実績 (人)

事業区分	今年度利用者数		前年度実績利用者数	
	実人員	延人員	実人員	延人員
短期入所事業(宿泊有)	21	652	24	617
日中一時支援事業	0	0	0	0

6 就労支援事業の実績

作業班	7年度目標額	実績額 (前年度実績)	達成率	作業の内容
受託作業班	8,400,000円	7,628,218円 (7,986,709円)	90.8%	部品加工袋詰め、おしぼり加工、端子加工等
園外班	8,000,000円	8,572,807円 (8,496,639円)	107.2%	企業内清掃作業、木工作業、除草等
自主製造班 (パン・菓子 製造班・喫茶)	23,000,000円	21,748,916円 (27,241,784円)	94.6%	施設給食、受注パン製造、菓子製造販売 コーヒー、軽食等の販売、配達
計	39,400,000円	37,949,941円 (43,725,132円)	96.3%	